



堤防の徒歩点検を行いました

9月28日(火)から10月7日(木)にかけて、台風による出水に備えて、南陽出張所が管理する最上川と支川の堤防およそ50kmにおいて、今年度2回目の徒歩による目視点検を行い、堤防の安全性を確認しました。

点検した結果では、6月から7月に実施した1回目の点検同様に、安全性に影響するような重大な損傷箇所は確認されませんでした。今後は、定期的実施している河川巡視において、堤防を含めた河川管理施設を監視していきます。



貫入棒を押し込み、堤防の強さを測定します

▲ 貫入棒で堤防の健全性を確認



▲ 堤防勾配を実測して確認



▲ 天端状況を実測して確認

北国からの使者が飛来しました



10月8日(金)に、米沢市の最上川にある窪田水辺の楽校において、白鳥数羽の飛来が確認されました。白鳥を愛する会の話によると、近年では平成25年10月5日、平成27年10月6日に次いで早い飛来だということです。

白鳥は、朝7時以降は落ち穂などを食べるため、近隣の水田に飛び立ち、夕方の日没近くなってから、休むために再び最上川に戻ってくるようです。

水辺の楽校の白鳥観察小屋へは、堤防を通行することになりますので、交通マナーを守るとともに、白鳥の観察にあたっては、鳥インフルエンザ対策を徹底してください。



山形河川国道事務所のホームページでは、ライブカメラで河川の状態を見ることができます。窪田水辺の楽校周辺の状況は、「置賜橋上流」を選ぶとご覧いただけます。

http://www2.thr.mlit.go.jp/yamagata/river_dp2014/



最上川 左岸 203.1k

山形県米沢市 置賜橋上流